



2023年12月21日

各位

会社名 株式会社 群馬銀行
代表者名 代表取締役頭取 深井 彰彦
(コード番号 8334 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員総合企画部長 齊藤 秀之
(TEL 027-252-1111)

任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約及び劣後特約付)の発行に関するお知らせ

株式会社群馬銀行(頭取 深井 彰彦)は、2023年12月21日開催の取締役会において、任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約及び劣後特約付)(以下、永久劣後債)の発行に関する決議を行うとともに、永久劣後債に関する訂正発行登録書を本日付で関東財務局長宛に提出いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、地方銀行による永久劣後債の発行は国内初となる見込みです。

記

1. 本社債発行の背景・目的

群馬銀行グループ(以下、当行グループ)は、パーパスである「私たちは『つなぐ』力で地域の未来をつむぎます」を基軸とした経営に取り組むことを明確にする目的で、中期経営計画の名称を「Innovation for "Purpose"」とし、「つなぐ」力の持続的発揮により当行グループの企業価値向上を目指しております。

「社会的価値」と「経済的価値」を両立する銀行グループを目指し、中長期的な目線として将来的なROE8%とPBR1倍の達成を掲げ、「2028年3月期を最終年度とした次期中期経営計画の達成^{※1}」、「めざす姿に向けたキャピタルアロケーション^{※2}」に向けた施策を展開し「ネガティブ・エクイティ・スプレッドの解消」に努めてまいります。

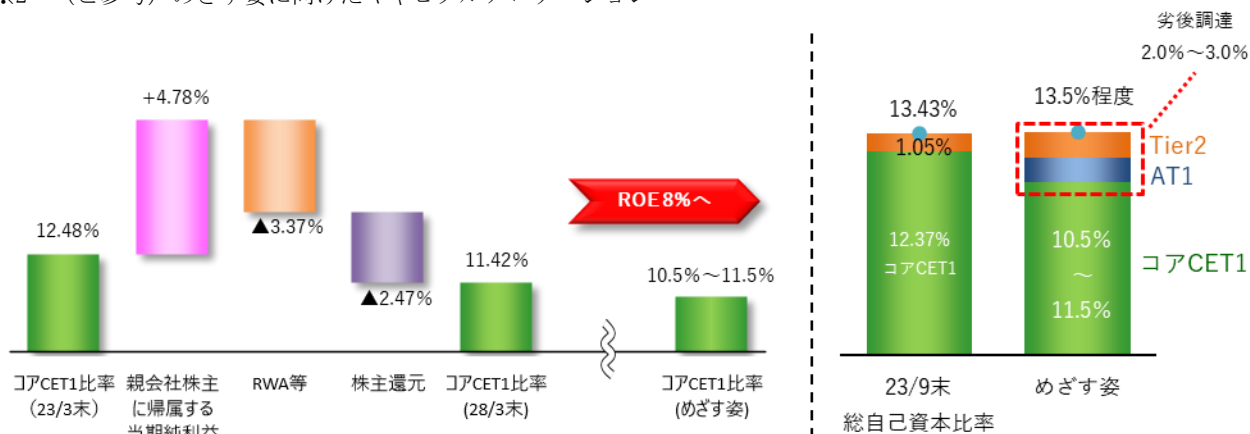
当行グループは、「リスクテイク」「健全性」「株主還元」のバランスを勘案した機動的かつ効果的な資本政策の実施を掲げておりますが、今般、めざす最適資本構成の構築及び資本調達が多様化等を図るべく、従来のTier2適格社債の発行に加え、その他Tier1適格社債を発行することといたしました。

※1 (ご参考) 2028年3月期を最終年度とした次期中期経営計画

	現中期経営計画 Innovation for "Purpose"	次期中期経営計画	
	24/3期 計画	25/3期 最終年度	28/3期 最終年度
親会社株主に帰属する当期純利益	280億円	300億円	470億円
自己資本比率	13.2%	13.1%	13.5%
うち、コアCET1比率(注)	12.0%	11.9%	11.4%
ROE	5.4%	5.6%	7.7%

(注) コアCET1比率=普通株式等Tier1から有価証券評価差額金を控除して算出した比率

※2 (ご参考) めざす姿に向けたキャピタルアロケーション



2. 本社債の概要

社債の名称	株式会社群馬銀行 任意償還条項付無担保永久社債 (債務免除特約及び劣後特約付)
発行額	未定
年限	定めない (ただし、別途定める各利払日、または税務事由もしくは資本事由が発生した場合において、当行任意の償還をすることができる。)
発行時期	未定
各社債の金額	1億円
払込金額	未定
資金使途	長期的投融資資金、一般運転資金、既存債務の返済等に充当する予定
発行代理人及び支払代理人	株式会社群馬銀行
振替機関	株式会社証券保管振替機構

※ 当行の発行登録債予備格付は株式会社日本格付研究所 (JCR) より、損失吸収条項付 Tier1 債に対して A を取得しています。

※※本社債については、需要状況や金利動向等を総合的に勘案した上で、発行金額等の条件を決定する予定であり、決定次第すみやかにお知らせいたします。

以上

本件に関するお問合せ先

総合企画部 経営管理室 西村
TEL 027-254-7055

ご注意：この文書は、当行が上記の社債発行に関して一般に公表するための発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当行が作成する発行登録目論見書並びに発行登録追補目論見書をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意下さい。